



すこやかパートナー同士の協働事例ご紹介!!

意見交換会がきっかけでした!

スポみどさん: 意見交換会でPRされていたSAYさんにお声をかけさせてもらい、こちらで開催している講座にご参加いただいたのが始まりでした。

きづがわ生協さん: 私どもも意見交換会での名刺交換をきっかけでして、当方で開催している事業に参加していただきました。

SAYさん: 私どもが行っているエイジレスバレエは人生最後の日まで自分の足で歩けるカラダづくりを目指しており、50, 60, 70, 80歳から始める新しい運動プログラムです。生徒さんからは「姿勢がよくなった」「階段の昇り降りが楽になった」「体重が減った」などの声があり、効果を感じていただいております。



3者が生み出したロコモ対策啓蒙活動

スポみどさん: 3者で協力してロコモ対策の講座を大阪府中央体育館会議室で行いました。初めに私どもがロコモティブシンドロームについて話をし、その後にSAYさんがエイジレスバレエストレッチの体験レッスン等を行い、講座の前後にきづがわ生協さんが測定器で健康年齢等を測定するというプログラムで、ご来場いただいた方々に大変喜んでいただきました。

SAYさん: 今年の春からきづがわ生協さんでエイジレスバレエストレッチの教室をスタートさせ、生徒数が増えたので場所を探していた時に、スポみどさんが公園の健康づくり事業として高齢者の運動プログラムを企画しているところだったので、3者協働のプログラムがスタートしました。



本市では、パートナーさん同士の協働を推進しており、事例を広く紹介することで、協働事業に興味や関心を持ってもらいたいと思っております。今回、ご紹介するのは大阪スポーツみどり財団さん(以下、「スポみどさん」。)と、大阪きづがわ医療福祉生活協同組合(以下、「きづがわ生協さん」。)と、SAYさんの3者による協働です。どのような取り組みだったのかお話を伺いました。



スポみど: 担当の白石さん



きづがわ生協: 担当の姉川さん



SAY: 藤井さん



SAY: 田仲さん

今後の協働の予定は?

スポみどさん: 現在、八幡屋公園では、エイジレスバレエストレッチの教室を定期的で開催しています。

SAYさん: **お呼びがかかれば、3者でロコモ対策の講座に伺います!!**
また、今後もお互いのイベントで協力していきます。

パートナーへのPR

一般財団法人 大阪スポーツみどり財団

“スポーツとみどり 魅力あふれるまち大阪に”をキャッチフレーズに大阪の大規模公園、大規模スポーツ施設の管理運営をおこなっている。公共施設の活用を通して、市民の健康活動事業を推進。

問合せ: 06-6576-3460 (担当: 白石)

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合

病院等の医療機関と市民の間をつなぐ、地域に密着した健康サポート
いつでもなんでも気軽に相談できる地域密着型医療サポート

問合せ: 06-6533-0106 (担当: 姉川)

SAY (一般社団法人 日本エイジレスバレエ・ストレッチ協会)

50、60、70、80歳からはじめるクラシックバレエの基本の動きを取り入れた、ゆるやかな運動を提供。ロコモティブシンドローム対策プログラムの推奨。

問合せ: 06-7502-9785
080-5717-5765 (担当: 田仲)

～ パートナー同士の協働を推進します ～

今回は3者による協働をご紹介しました。意見交換会での出会いが3者による協働にまで広がった事例でした。多くのパートナーさんが協働を望んでおられますので、これからも、協働事例をどんどん発信していきながら、パートナーのみなさんの協働を応援していきます!